

平成18年7月19日

各位

三井金属鉱業株式会社



東京都品川区大崎1-11-1

コード番号 5706 東証(第1部)

代表者 代表取締役社長 榎原 紘

お問い合わせ先

広報室長 桜井 若葉

電話 03-5437-8028

銅製錬事業における業務提携の強化に伴う特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、昨年12月26日に発表した日鉱金属株式会社(以下「日鉱金属」)との基本合意のもと、銅製錬事業における同社との業務提携をさらに強化し競争力向上を図るため、かねて同社との共同出資により設立していたパンパシフィック・銅工業株式会社(以下「PPC」)に対し、本年4月1日をもって、銅製錬事業に関する営業譲渡および子会社株式の譲渡を行っております。

これらの譲渡の対価の額については、譲渡時点では未定のままであり、客観公正な第三者の評価を得たうえで当事者間で協議のうえ決定することとしておりましたところ、このたび当事者間で額の合意に至りました。

これに伴い、平成19年3月期第1四半期において、下記のとおり譲渡による特別利益を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、PPCは当社の持分法適用関連会社(当社出資比率34%)であり、本件に関わる譲受けのための資金の一部を、出資者である当社および日鉱金属からの増資により調達する予定です。

記

1. 譲渡益および四半期純利益への影響額

	譲渡益(特別利益) (見込み)	第1四半期純利益 への影響額 (見込み)	(参考)既公表の平成19年3月期業績予想 (平成18年4月27日公表)	
			中間純利益	当期純利益
単位	百万円	百万円	百万円	百万円
個別	14,400	8,600	4,300	5,000
連結	11,200	7,600	12,500	30,000

上表中の業績予想においては、営業譲渡そのものは前提としておりますが、譲渡益については公表時点で金額が未確定であったため計上しておりません。

本譲渡益を反映した業績予想については、他の変動要因も考慮したうえで第1四半期財務・業績の概況発表時にお知らせする予定です。

2. 銅製錬事業における業務提携の強化について

当社と日鉱金属は、銅製錬事業において、かねて両社の共同出資により設立したP P Cを中心とした包括的な業務提携を推進してまいりました。これまでP P Cは、自ら海外鉱山等から鉱石を調達し、その製錬を当社および日鉱金属に委託し、返還された製品を販売する銅製錬事業一貫運営体制でしたが、生産機能の統合により、さらに業務提携を強化し、銅製錬事業の競争力向上を図るため、平成18年4月1日をもって、当社の連結子会社である日比共同製錬株式会社（以下「日比共同製錬」）を委託先として行っている銅の委託製錬・精製事業およびその付帯関連事業をP P Cに営業譲渡しました。

なお、営業譲渡に伴い当社の保有する日比共同製錬の株式をP P Cに譲渡しております。

営業譲渡および連結子会社株式の譲渡の内容は次のとおりです。

(1) 譲渡先の概要

名 称	パンパシフィック・カッパー株式会社
本 社	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
代 表 者	代表取締役社長 久留嶋 毅
資 本 金	3,450百万円（日鉱金属66%出資、当社34%出資）
事業内容	電気銅・硫酸・その他銅副産品の製造販売、金属鉱業

(2) 営業譲渡の内容

譲渡する事業の内容、規模

日比共同製錬株式会社の玉野製錬所を委託先として行っている銅の委託製錬・精製事業及び当社の日比製煉所の補助管理業務の一部に関する営業（平成18年3月期売上高29,125百万円）

譲渡する資産・負債の額（平成18年3月31日現在）

資産 7,195百万円

負債 2,309百万円

(3) 連結子会社株式の譲渡の内容

当該子会社の概要

名 称	日比共同製錬株式会社
本 社	東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
代 表 者	代表取締役社長 丸山 恒夫
資 本 金	4,700百万円
事業内容	銅の製錬・精製
取引内容	銅製錬の委託、工業用地等の賃貸

譲渡株式数等

譲渡株式数 5,970,000株

持分比率 譲渡前 63.51% 譲渡後 - %

(4) 譲渡価額

22,357百万円

(5) 譲渡期日

平成18年4月1日

以 上